

令和7年度使用中学校用教科用図書（「教科名 技術・家庭 家庭分野」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
技術・家庭 家庭分野	東京書籍	<p>○基礎・基本の定着に関わって</p> <p>編末の「学習のまとめ」では、知識及び技能を習得するための問いが掲載されており、学習した内容を着実に定着するための工夫が見られる。また、キャラクターの吹き出しとして、疑問や発問例を学習内容ごとに明記しているため、段階を追って学習を進めることができる。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫に関わって</p> <p>「生活の課題と実践の進め方」を掲載し、学習の流れを 1 課題を決めよう 2 計画を立てよう 3 家庭や地域で実践しよう 4 評価しよう 5 改善しよう 6 次の課題と表記し、主体的に学習を進める工夫が見られる。また、調理実習例や製作実習例の種類が豊富に掲載されており、自ら学習に向かうことができる。</p> <p>○内容の構成・配列に関わって</p> <p>衣食住生活、消費生活、家族・地域などの内容が満遍なく構成されており、自立と共生を目指すための段階的な配列となっている。また、SDGs やユニバーサルデザインなど、現代的な内容についても取り扱っており、社会の流れとともに家庭を考えることができる。</p> <p>○内容の表現・表記に関わって</p> <p>各分野で、デジタルコンテンツとして、思考ツールやシミュレーション、動画等にリンクでき、教科書を超えて、教材の内容を理解することのできる工夫がある。</p> <p>○言語活動の充実に関わって</p> <p>「生活に生かそう」「まとめよう」で学習を振り返ったり、次の学習に生かしたりする活動を設定しており、学習を振り返りながら、生活や社会へ関連する活動を組み込むことができる。</p> <p>○本校の研究に関わって</p> <p>思考ツールなど学び方の種類が多く掲載されているため、学習方法による身に付けさせたい力の育成等、先導的な研究を遂行しやすい。</p>